

長崎 栄三

前静岡大学大学院教育学研究科教授

1948年、東京都生まれ。中学校教員を経て、1980年に国立教育研究所に入り、2001年より国立教育政策研究所教育課程研究センター総合研究官となる。2009年より静岡大学大学院教授となり2014年に定年退職。

研究所においては、TIMSS、PISA、教育課程実施状況調査などに参画してきた。最近では2012年の第12回数学教育国際会議において招待講演者として「数学的リテラシー」に関する講演をしている。

現在、日本学術会議連携会員、独立行政法人科学技術振興機構科学コミュニケーションセンターフェロー、公益財団法人教科書研究センター理事、国立教育政策研究所名誉所員、国際数学・理科教育動向調査（TIMSS）国内専門委員。